

寄居希望者研修:本校と越谷北共催の希望者研修に県内各地から生徒と教職員 45名集まる

6月18日(日)9:00 寄居駅北口集合、14:30 解散予定で、大里郡寄居町鐘撞堂山麓で、鐘撞堂山周辺での初夏の里山の動植物観察とプラナリア採集を主目的に希望者研修が行われた。本校より15名(生徒14、教員1)、埼玉県内の川越高校10名(生徒8、教員2)、春日部高校6名(生徒5、教員1)、春日部東4名(生徒3、教員1)、所沢高校3(生徒2、教員1)、蕨高校2名(生徒1、教員1)、越谷北高校5名(生徒4、教員1)、合計45名もの生徒・教員が集合しての実習であった。

森の見方、それぞれの動植物の観察方法を、教員から説明を受けた。森の小川で、再生実験で有名なプラナリアの採集を行った。初めて採集するので四苦八苦しながら、経験者の教員が短時間に多くの個体を採集していた。経験と観察の違いを生徒は知ることができたに違いない。



寄居の里山は自然の宝庫、でも自然林ではない

この森は自然林だろうか、人工林だろうか。里山って何だろう。答えは自然の中にあります。

科学の第一歩は身の回りの自然を観察することが大切。物理も化学も生物・地学もこの中にいっぱい詰まっています。この雑木林の中は宝の宝庫、身の回りの動植物観察を行ってください。



国道140号や秩父鉄道の車窓から見られる雑木林



プラナリア採集

観察された主な動植物



近くの寺でアライグマの爪痕調査の研究も実施した。5本の爪が残っていればアライグマがここに訪問している証拠。



専門家の中川先生でもすぐには分からないトンボ。家に帰ってからも調査研究は怠らず、サナエトンボ科のオナガサナエ(♀)という連絡が後日ありました。



ツルクサの花です。どれが、めしべ・おしべ・花弁・がく。花の中心にある黄色いものは何だろう。自分で調べてみてください。よく見ると2種類あります。実物を見てください。

編集後記



寄居に生育していた特定外来生物のオオキンケイギクです。特定外来生物は飼育・栽培・保管及び運搬することが原則禁止されています。たとえきれいな花であっても、家に植えたり、人にあげたりしてはいけません。学校の周りにも増えています。どうしたらよいか考えてみてください。(文責:三上)